



5月11日で廃線となるJR江差線（渡島鶴岡駅）

まちづくり新幹線課

**JR江差線施設物撤去
民間の意見反映できるか**

平野委員 JR江差線廃止に伴う鉄道施設物撤去調査設計委託料が400万円となっています。

今後の利活用はまだ決まっていますませんが、民間の意見はこの調査設計には反映されるのでしょうか。

また、新幹線木古内

駅開業記念事業実行委員会の組織編成を含め、どのような内容なのでしょう。また、福田まちづくり新幹線課長 江差線廃止に伴う鉄道施設を、地元自治体が撤去できるものはJRから町が受託して撤去できることになっていきます。今回の委託料は、レールや枕木など、撤去

するものと費用の積算をする業務内容となっています。

例えば、鶴岡地区の線路を活用するため撤去の範囲から除くことも今後、判断することは可能です。

中尾新幹線振興室長

商工会や一次産業を含め、新幹線木古内駅開業に向けた各種記念事業を官民一体となつて進めるための組織づくりをするものです。

平成26年12月頃には、新幹線の試運転列車のセレモニーを予定しており、平成27年度末の本番に向けて、町民の皆様から意見を聞きたいと思っています。

産業経済課

**プレミアム商品券
期間延長で有効活用を**

竹田委員 商業振興としてのプレミアム商品券の使用期間が、4月下旬から7月までとな

っています。町に賑わいが出るお盆や咸臨丸まつりの頃まで、期間を延長できませんか。

藤谷主幹 町では、事業実施に向けた案をいただいております。使用期間については商工会での決定事項として取り扱うこととなります。

建設水道課

**駅前通の各種工事
経費を削減できないか**

竹田委員 駅前通で、水道の配水管の工事ははじまります。電線の地中化や水道管工事は、合理的に行つて費用を軽減すべきだと思ひます。

若山建設水道課長 今回の工事では、電線の地下埋設と水道管、下水道汚水管、雨水管と4種類が入ります。共同溝として同時に実施することは理想ですが、多額の費用もかかるため、それぞれの

管理者が管理しやすい位置に埋設するという事で進めています。

**分譲造成地 無償でも
大胆な施策が必要**

東出委員 給食センター横に、10区画の分譲地を造成して1年半ほどが経ちましたが、未だに1区画も売れていません。定住化対策として、木古内町に家を

建てて10年住んだら無償で提供するという大胆な発想があつてもいいと思います。

若山建設水道課長 広報やホームページを見て問い合わせもありますが、駅から遠いことや下水道が接続されていないため、売却されていけません。定住化につなげるよう、庁舎内で検討していきたいと思っています。

審査を振り返って

予算等審査特別委員会
委員長 **佐藤 悟**



ようやく春らしい暖かな陽気となり、農作業も急ピッチで行われています。

北海道新幹線の開業まで2年を切り、一般会計では、新年度予算（総額約54億円）のうち約28%の15億円が新幹線関連事業として占められており、駐車場や観光交流センターの建設、駅自由通路等の改修など、北海道最初の玄関駅となる駅前周辺整備に向けた工事が進められることとなります。

一方で、JR江差線から経営分離される並行在来線の三セク運営については、安全対策等の課題も数多く残されています。

特別委員会を支援いただいた福嶋副委員長をはじめ、各委員に感謝を申し上げるとともに、各会計の予算執行を注視していきたいと思っています。